

ご挨拶

気体軸受研究会が日本トライボロジー学会第3種研究会として発足いたしましたのは昭和54年6月のことであり、以降22年、105回の長きにわたって会合を重ねてまいりました。

最初の11年60回は、京都大学名誉教授森 美郎先生に主査をお願いし、それに続いて10年45回は、非才を省みず、私が主査を務めさせていただきました。22年にもわたる長い間、会合を続けてこられましたのも、最初、森先生に引いていただきました道筋と、委員の皆様の多大のご協力のお蔭と厚く感謝しております。

このたび、まことに勝手ながら、諸般の事情で、気体軸受研究会は、本年度通算105回をもって一段落とさせていただくこととなりました。

森先生のご指導と皆様の数々のご厚誼を思いますとき、研究会を一段落とさせていただくこと、誠に申し訳なく思っております。深くお詫び申し上げる次第でございます。

幸いにして、学会で認められれば、気体軸受研究会を発展的に引き継ぐ形で、関西大学教授森 淳暢先生に主査をお願いし、「“超”を目指す軸受技術研究会」が発足することになります。

今まで培ってきた交流の輪をさらに推し進め、新しい研究会の場で、温かい雰囲気、新しい軸受技術を目指して、議論できればと思っております。今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、委員の皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

平成13年3月13日

気体軸受研究会

主査 矢部 寛